

## 出東幼稚園の今後のあり方について

本市においては、集団教育である幼稚園での教育の効果や、幼稚園における“より望ましい幼児教育環境”の確保を図るため、平成24年に策定した「出雲市立幼稚園の閉園に関する方針」に基づき、「学級数1以下（園児数が10人未満）の状態が2年続く」場合は、地元の了解を得ながら幼稚園の閉園を検討することとしています。

出東幼稚園については、平成30年度の3歳児入園者が1名であり、今後の園児数の動向によっては、閉園協議の対象となる可能性があります。そこで、市では今後の出東幼稚園のあり方について、出東幼稚園運営協議会に対し、地区の意見集約を依頼したところ、このほどその結果が示されました。これを受け、市では、今後の出東幼稚園のあり方について方針を決定しましたので報告します。

### 1. 検討経過

#### (1)市からの提案

平成30年1月29日に、出東幼稚園運営協議会に対し、今後の出東幼稚園のあり方について、以下のとおり提案した。

「今後の方向性として、認定こども園化（認可保育所を運営する社会福祉法人等への事業移管）、10名以上の園児確保による幼稚園の継続、又は閉園協議が考えられる。出東地区として協議していただき、意見をまとめていただきたい。」

#### (2)地区の検討状況

##### ①出東地区自治協会

6月12日 出東幼稚園運営協議会の要請により、「出東幼稚園今後のあり方検討特別委員会」が設置され、市として概要等を説明した。

11月20日 「出東幼稚園今後の方向性等について（報告）」

- ・自治協会としては、地区内に存続の希望がある限り、幼稚園存続について最大限の努力を行うが、現実的にはその可能性は低い。
- ・その場合、市から提示された選択肢の中では、認可保育所を運営する社会福祉法人等への事業移管による認定こども園化が最も現実的である。

##### ②出東幼稚園PTA

12月11日 PTA総会において、認定こども園化の方向性で意見集約。

### 2. 出東幼稚園運営協議会の検討結果

12月19日 地区の意見集約結果について、市へ報告書を提出

「地区における幼児教育を行う施設として、認定こども園の設置を要望」

### 3. 今後の市の方針

出東幼稚園については、出東地区における幼児教育を継続するため、認可保育所を運営する社会福祉法人等への事業移管により認定こども園化を図っていく。

なお、移管先法人については、公募により選定する。

現園舎の施設老朽化のため、施設の譲渡は行なわない。

### 4. 今後のスケジュール（案）

- H31.3 方針決定に関する議会報告（常任委員会、最終日全員協議会）  
子ども・子育て会議への報告
- H31.5 第1回 選定委員会（公募条件等の決定）
- H31.6月上旬頃 公募開始（～7月中旬頃まで）
- H31.7 第2回 選定委員会（移管法人の決定）
- H31.8 子ども・子育て会議への報告、認定こども園の認定手続き開始
- H31.9 移管法人決定に関する議会報告（常任委員会、最終日全員協議会）  
例規改正
- H31.11 次年度募集開始
- H32.4 認定こども園 開園

#### 【参考】出生数、園児数（5/1時点）の推移

年度	H26	H27	H28	H29	H30 ※1	H31 ※2	H32 ※3
地区内出生数	38	20	29	32	—	—	—
園児数計	18	18	17	16	14	11	10
（3歳児）	5	5	4	5	1	1	（8）
（4歳児）	7	6	6	5	8	1	1
（5歳児）	6	7	7	6	5	8	1

※1 12月1日現在の園児数

※2 12月12日時点の申込み数（新規及び継続分）

※3 H32に園児数10人を確保するためには、（ ）内の人数が必要